

報道関係者各位

2021年6月28日(月)

KeepAlive株式会社

DX推進を支援するKeepAlive×人狼・ボードゲームブームの仕掛け人 オンライントークイベント「switch 0→1 night #0」6月29日開催

～ゼロからイチを生み出すきっかけとボードゲームのDXについて語らう～

DX（デジタルトランスフォーメーション）コンサルティングを提供するKeepAlive（キープアライブ）株式会社（東京都新宿区新宿2-1-11、代表取締役 成田敦、西田陽介）は、JELLY JELLY CAFEオーナーの白坂翔氏を招いたトークイベント「switch 0→1 night #0」を2021年6月29日(火)に開催します。

The graphic is a promotional banner for a YouTube Live event. On the left, there is a blue and black background with white and red text. It includes a large number '1' inside a circle, the event title 'switch 0→1 night #0', the date and time '6/29 (tue) 18:00 Start @ switch the snack', and the event description '新規事業担当・アントレプレナー向け YouTube LIVE 人狼・ボードゲームブームの仕掛け人が語る ボードゲームの0→1'. At the bottom left, it says '主催：DXコンサルティング企業 KEEPALIVE'. On the right, there is a circular portrait of a man with glasses, identified as 'SPECIAL GUEST 白坂 翔さん' (Special Guest Shirohira Ryuu). Below the portrait, it says 'JELLY JELLY CAFE オーナー' and provides a short biography: '1984年生まれ、山梨県出身。元自衛隊で元ホスト。ボードゲームカフェJELLY JELLY CAFE（全12店舗）オーナー。将棋カフェCOBINオーナー。株式会社人狼代表取締役。趣味はポーカーとゴルフ。' A small black box at the top right of the graphic says '無料 YouTube LIVE'.

「switch 0→1 night」は、【変革】や【DX】、【0→1（ゼロワン）】をテーマにゲストを招き、ゲストのキャリアやゼロからイチを生み出したきっかけを探るトークイベントです。配信拠点となる「switch the snack」（四谷荒木町・7月11日オープン予定）はDXコンサルティング事業を具現化し、体験していただくために当社がプロデュースするスナックです。MA、ダイレクトプライシング、完全キャッシュレスなどのITを導入・検証するショールームとしての利用も想定しつつも、よき昭和のスナックとしても楽しめる環境を目指します。

■ 0から作り上げたキャリアとボードゲームのDXについて

今回はオープン前の店内から、トライアルイベントとして、第ゼロ回開催として実施します。特別ゲストに「ボードゲームカフェ」という業態のフロンティアであり、ボードゲームや人狼ブームの仕掛け人である白坂翔さんを招いて、0から作り上げたキャリアやこれからのボードゲームについてお話を伺います。また、当社社員らによるボードゲ

KEEPALIVE

ームについてのDX提案も披露し、白坂さんに評価されれば実際に事業化に向けて当社が支援するイベントも企画しています。

【イベント概要】

イベント名：switch 0→1 night #0

人狼・ボードゲームブームの仕掛け人が語る「ボードゲームの0→1」

特別ゲスト：JELLY JELLY CAFE オーナー 白坂 翔さん

日時：2021年6月29日 (火)18：00～19：30

参加費用：無料

詳細URL：<https://01night.peatix.com/>

【会社概要】

KeepAlive株式会社（キープアライブ）

技術力に立脚したコンサルティングによって一部上場企業を含む多くのクライアントの課題解決を支援。業務のムダや属人性を無くして再現性、反復可能性を高めるDevOpsの考え方をあらゆる業務に適用するコンサルティングサービスを開始しました。企業理念の「>>switch」に基づき、DXをはじめとするデジタル技術を活用し、人、企業、社会における価値を転換することを目指しています。